# 第二期　横須賀市管路維持管理業務委託における実施方針に関する

# マーケットサウンディング調査

# 結果概要

◎本事業におけるマーケットサウンディング調査について

横須賀市では、持続可能な水道事業の実現に向け、現在実施している横須賀市管路維持管理業務委託の第二期の実施検討を行っているところです。

そこで、実施検討や事業者募集に係る各種条件検討のための参考とすべく、マーケットサウンディング調査を実施しました。

令和８年 11 月

横須賀市

## １．マーケットサウンディング調査の開催概要

### （１）マーケットサウンディング調査のスケジュール

本調査のスケジュールは以下のとおりです。

| 日付 | 内容 |
|---|---|
| 令和８年８月４日（火） | 「サウンディング実施要領」等の公表 |
| 令和８年８月４日（火）<br>～令和８年９月１日（火） | 「ヒアリング調査票」質問・回答期間 |
| 令和８年８月２５日（火） | 「説明会・個別ヒアリング参加申込」の締切 |
| ～令和８年９月１日（火） | 説明会開催通知 |
| 令和８年９月１日（火） | 「ヒアリング調査票」回答締切 |
| ～令和８年９月４日（金） | 個別ヒアリング実施通知（対象者のみ） |
| 令和８年９月１０日（木） | 説明会開催 |
| 令和８年９月１１日（金）<br>～令和８年９月１８日（金） | 個別ヒアリング実施　※必要な場合のみ |
| 令和８年１１月２日（月） | サウンディング実施結果の公表（予定） |

### （２）マーケットサウンディング調査の方法及び内容

サウンディング調査では、アンケート調査（ヒアリング調査票)、説明会及び個別ヒアリングを実施しました。

① アンケート調査（ヒアリング調査票）

事業スキーム案をもとに、主に以下の項目について調査を行いました。

1. 業務実績
2. 業種/対応業務種別
3. 現地点での事業への参画意欲

4-A. 委託化・業務範囲（管路維持業務）

4-B. 委託化・業務範囲（渉外保全業務）

4-C. 委託化・業務範囲（管路整備業務）

4-D. 委託化・業務範囲（点検管理業務）

5. 選定方法や参加要件について
6. 情報開示について
7. スケジュールについて
8. その他

アンケート調査には、４社からのご回答をいただきました。

② 説明会

横須賀市ＨＰ上に参加申込書を掲載し、希望する民間団体を対象に、第二期　横須賀市管路維持管理業務委託における実施方針に関するマーケットサウンディング調査説明会を開催しました。

説明会には、７社の申し込みをいただきました。

③ 個別ヒアリング

個別ヒアリングは、該当企業がございませんでした。

## ２．マーケットサウンディング結果概要

以下に示す調査結果概要は、調査票の集計を中心に、質問票の内容も含めて事務局で整理したものです。質問票・自由記載欄の内容については、類似の意見を集約するなどにより整理しているため、すべてのご意見を個々に記載しているものではありません。

これらは、あくまでも今後の検討の参考とさせていただくものであり、必ずしも本調査における回答数の多寡のみをもって方向性等を決定するものではない点にご留意ください。

### （１）アンケート内容及び結果

#### １．　業務実績

問 1-1　全国の公共水道事業における官民連携事業（包括的民間委託、ＰＦＩ事業等）への参入状況についてご回答ください。【いずれか１つ】＊必須

問 1-2　問 1-1 で「④以前、事業を実施したことがある（現在は事業を行っていない)」または「⑤現在、事業を実施中である」を選択した場合、実施した自治体名／事業名／事業期間をご回答ください。（最大３件まで）

問 1-3　問 1-1 で「④以前、事業を実施したことがある（現在は事業を行っていない)」または「⑤現在、事業を実施中である」を選択した場合、事業参画時の体制をご回答ください。【複数回答可】

**表 1　官民連携事業（包括的民間委託、ＰＦＩ事業等）への参入状況**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| ①参入実績はない | 0 |
| ②参入を検討したことがある | 0 |
| ③公募・入札に参加したことがある | 0 |
| ④以前、事業を実施したことがある（現在は事業を行っていない） | 0 |
| ⑤現在、事業を実施中である | 4 |
| 計 | 4 |

**表 2　官民連携事業参画時の体制**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| ①単独での参画 | 2 |
| ②グループの代表企業として参画 | 0 |
| ③グループの構成企業として参画 | 2 |
| ④下請け企業として参画 | 0 |
| 計 | 4 |

- 官民連携事業を現在実施中であると回答した民間団体は、４社全てでした。
- 参画時の体制については、単独での参画が２社、グループ構成企業としての参画が２社でした。

問 1-4　横須賀市の水道事業における業務実績の有無をご回答ください。
【いずれか１つ】
問 1-5　問 1-4 で「①業務実績がある」を選択した場合、実施した業務名／業務年度をご回答ください。（最大３件まで）

**表 3　横須賀市の水道事業における業務実績の有無**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| ①業務実績がある | 4 |
| ②業務実績がない | 0 |
| 計 | 4 |

- 横須賀市の水道事業における業務実績は全ての民間団体が有りでした。

問 1-6　保有資格をご回答ください。【複数回答可】
問 1-7　問 1-6 で「⑤その他」を選択した場合、具体的な資格名をご回答ください。【複数回答可】

**表 4　保有資格**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| ①水道施設管理技士の管路施設管理技士 2 級以上 | 4 |
| ②水道施設管理技士の管路施設管理技士 3 級 | 4 |
| ③給水装置工事主任技術者 | 4 |
| ④酸素欠乏・硫化水素危険作業主任技術者 | 4 |
| ⑤その他 | 2 |

問 1-8　自社での給水車保有台数・車種をご回答ください。

**表 5　給水車保有**

| 選択肢 | 回答数 |
|---|---|
| ①保有している | 3 |
| ②保有していない | 1 |
| 計 | 4 |

## ２．　業種/対応業務種別

問 2-1　公共水道事業において、対応可能な業務領域をご回答ください。【複数選択可能】

表 6　公共水道事業においての対応可能な業務領域

| 区分 | 業務 | 回答数 |
|---|---|---|
| 管路維持業務 | 受付業務（水道） | 4 |
| | 受付業務（下水道） | 4 |
| | 現場確認業務（水道） | 4 |
| | 現場確認業務（下水道） | 4 |
| | 計画漏水調査業務 | 4 |
| | 修繕工事業務 | 4 |
| | 工事監理業務 | 4 |
| 渉外保全業務 | 他企業工事照会受付業務 | 4 |
| | 他企業工事立会業務 | 4 |
| | 表函類調整・取替工事業務 | 4 |
| | 水道管切回し工事業務 | 4 |
| | 鉛給水管取替工事業務 | 4 |
| | 消火栓維持管理業務 | 4 |
| 管路整備業務 | 漏水多発路線分析業務 | 4 |
| | 配水管工事設計業務 | 4 |
| | 配水管更新工事業務 | 4 |
| 点検管理業務 | 非常用貯水装置点検管理業務 | 4 |
| | 水管橋点検管理業務 | 4 |
| | 減圧弁点検管理業務 | 4 |
| | 仕切弁点検管理業務 | 4 |
| | 電気防食点検管理業務 | 4 |
| | 排水設備点検管理業務 | 4 |
| | 管路施設等巡視業務 | 4 |
| | 管理立坑湧水中和業務 | 4 |
| 回答企業者数 | | 4 |

## ３． 現時点での事業への参画意欲

問 3-1　本事業への現時点での貴社の参画意欲についてご回答ください。【いずれか１つ】
問 3-2　問 3-1 で回答した選択肢の理由についてご回答ください。

**表 7　本事業への現時点での参画意欲**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 参画意欲がある<br>（現時点では前向きに検討している） | 4 |
| ② | 参画意欲はない<br>（現時点では参画を検討していない） | 0 |
| ③ | どちらとも言えない<br>（業務内容や条件等による） | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　本事業に参画意欲がある企業は、４社中４社でした。

問 3-3　事業参画する場合、想定している立場をご回答ください。【複数選択可能】

**表 8　事業参画時の想定立場**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 代表企業 | 3 |
| ② | JV構成企業 | 4 |
| ③ | 協力会社（JVからの下請け） | 0 |
| 回答企業者数 | | 7 |

※複数回答可のため、合計は 4 を超える

### 4-A.　委託化及び対象とする業務範囲について（管路維持業務）

問 4-A-1　管路維持業務の業務範囲拡大について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】

問 4-A-2　問 4-A-1 の回答理由や補足説明についてご回答ください。

**表 9　管路維持業務の委託化拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 委託化拡大することに賛成 | 4 |
| ② | 委託化拡大することに反対 | 0 |
| ③ | どちらともいえない | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　管路維持業務の委託化拡大に賛成と回答した民間団体は４社中４社です。
その理由として、「受付から現場確認、修繕工事、工事管理までの一連の業務をより一体的に運営できるほか、対応力の向上や業務効率化が図れること」、「受付情報、現場対応履歴、修繕実績、漏水調査結果などのデータを一元的に蓄積・活用することで、維持管理品質の向上や業務のさらなる高度化を図ることが可能である」等の意見がありました。

問 4-A-3　第二期　管路維持管理業務委託で対象とする管路維持業務の業務範囲について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】

問 4-A-4　問 4-A-3 の回答理由や、委託化しない方がよいと思われる具体的な業務についてご回答ください。

**表 10　管路維持業務の業務範囲拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 管路維持業務を全面的に含めることが望ましい | 4 |
| ② | 委託化の対象とする業務範囲を絞りこむことが望ましい | 0 |
| ③ | その他 | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　管路維持業務を全面的に含めることが望ましいと回答した民間団体は４社中４社です。
その理由として、新たに追加が検討されている業務は、既存の管路維持業務と密接に関

連しており、包括的に委託することで、業務間の調整負担の軽減や情報・ノウハウの一元管理が可能となることが期待できるとの意見がありました。

### 4-B. 委託化及び対象とする業務範囲について（渉外保全業務）

問 4-B-1　渉外保全業務の委託化について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-B-2　問 4-B-1 の回答理由や補足説明についてご回答ください。

**表 11　渉外保全業務の委託化拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 委託化拡大することに賛成 | 4 |
| ② | 委託化拡大することに反対 | 0 |
| ③ | どちらともいえない | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　他企業工事照会への対応や現場立会いは、こうした管路維持業務と密接に関連することから、両業務を一体的に担うことで、協議内容の精度向上や対応の迅速化、さらには事故防止につながるものと考えるとの意見がありました。

問 4-B-3　第二期　管路維持管理業務委託で渉外保全業務の拡大対象範囲について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-B-4　問 4-B-3 の回答理由や対象業務から除いた方がよい業務についてご回答ください。

**表 12　渉外保全業務の業務範囲拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 渉外保全業務を全面的に含めることが望ましい | 4 |
| ② | 委託化の対象とする業務範囲を絞りこむことが望ましい | 0 |
| ③ | その他 | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　渉外保全業務は、工事照会受付から協議、現場立会い、保全対応に至るまで、他企業工事という一連の流れの中で相互に関連する業務です。そのため、これらを分割して委託

した場合、引継ぎや情報共有に伴う遅延、判断基準の不統一等が生じるおそれがあると考えられるとの意見がありました。

### 4-C. 委託化及び対象とする業務範囲について（管路整備業務）

問 4-C-1　管路整備業務の委託化について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-C-2　問 4-C-1 の回答理由や補足説明についてご回答ください。

**表 13　管路整備業務の委託化拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 委託化拡大することに賛成 | 4 |
| ② | 委託化拡大することに反対 | 0 |
| ③ | どちらともいえない | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　新たに追加が検討されている管路整備業務は、単なる水道管路の更新工事に係る設計・積算業務の委託にとどまらず、維持管理業務と更新事業を一体的にマネジメントする先進的な取組として大きな意義を有するとの意見がありました。

問 4-C-3　第二期　管路維持管理業務委託で管路整備業務の拡大対象範囲について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-C-4　問 4-C-3 の回答理由や対象業務から除いた方がよい業務についてご回答ください。

表 14　管路整備業務の業務範囲拡大に対するご意見

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 管路整備業務を全面的に含めることが望ましい | 4 |
| ② | 委託化の対象とする業務範囲を絞りこむことが望ましい | 0 |
| ③ | その他 | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　管路整備業務については、設計のみ、工事監理のみといった形で業務を分割するのではなく、維持管理業務との連携も含めて包括的に委託することが望ましいとの意見がありました。

### 4-D.　委託化及び対象とする業務範囲について（点検管理業務）

問 4-D-1　点検管理業務の委託化について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-D-2　問 4-D-1 の回答理由や補足説明についてご回答ください。

表 15　点検管理業務の委託化拡大に対するご意見

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 委託化拡大することに賛成 | 4 |
| ② | 委託化拡大することに反対 | 0 |
| ③ | どちらともいえない | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　今回追加が検討されている非常用貯水設備、水管橋、減圧弁、仕切弁、排水設備等の点検管理業務は、いずれも管路維持業務で得られる漏水、水質、水圧等の情報と密接に関連していることから、一体的に実施することで異常の早期発見や迅速な対応につながるとの意見がありました。

問 4-D-3　第二期　管路維持管理業務委託で点検管理業務の拡大対象範囲について、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】
問 4-D-4　問 4-D-3 の回答理由や対象業務から除いた方がよい業務についてご回答ください。

**表 16　点検管理業務の業務範囲拡大に対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 点検管理業務を全面的に含めることが望ましい | 4 |
| ② | 委託化の対象とする業務範囲を絞りこむことが望ましい | 0 |
| ③ | その他 | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

・　各設備の点検、整備、修繕計画及び記録管理を一体的に実施することで、設備の状態を継続的に把握し、計画的かつ効率的な維持管理が可能になると意見がありました。

## ５．　選定方法や参加要件について

問 5-1　第二期　管路維持管理業務委託への参加形態については特別目的会社（SPC）方式等の追加を検討しています。このことについてご意見がございましたらご回答ください。
問 5-2　参加要件の設定やプロポーザルにおける評価で、地元（市内）での業務実績や地元雇用等を重要視することを検討しています。このことについてご意見がございましたらご回答ください。
問 5-3　その他プロポーザル方式についてご意見がございましたらご回答ください。

・　SPC 方式は長期的な責任管理等に有効である一方、設立・維持コストや意思決定の複雑化が課題となるため、採用する場合は契約期間、構成員・協力会社の役割、再委託範囲、責任分界及び工事精算の透明性を明確にする必要があり、SPC 方式も有効な選択肢の一つと考えられるが、本業務の特性を踏まえると、JV 方式を含めて柔軟に選択できることが望ましいとの意見がありました。
・　事業者選定については、市内での業務実績や地元雇用への取組、地元企業との連携体制を適切に評価することが有効と考えられる一方、事業の持続性や効率性を確保するためには、技術力、マネジメント能力、DX 推進能力等も含めて総合的に評価し、地域密着性と事業運営能力を両立できる事業者を選定することが望ましいとの意見がありました。
・　プロポーザルにおいては、地域との連携実績や公民連携の実績、技術力、DX 推進能力等を総合的に評価いただくことで、地域企業と専門事業者がそれぞれの強みを発揮できる事業体制の構築につながるとの意見がありました。

## ６． 情報開示について

問 6-1　今後の参画検討にあたって、より情報開示を求めたい事項等がございましたらご回答ください。

- 事業参画の可否や実施体制をより具体的に検討するため、対象施設・管路の現況、修繕履歴や更新計画、現行業務の実施状況、ならびにリスク分担や費用負担の考え方について、可能な範囲で情報開示いただきたいとの要望がありました。
- 具体的には、追加業務ごとの過去 3～5 年の実績件数、対象施設数・管路延長・市外管理区域、断水作業及び工事一括委託の承認手順、管路整備に係る資格要件・積算システムの利用条件・再委託可否、点検基準・成果品様式並びに物価・労務単価変動時の契約変更条件の開示の要望がありました。

## ７． スケジュールについて

問 7-1　事業概要書 P.15「4　今後の想定スケジュール」に示した今後の想定スケジュールにつきまして、お考えに近いものをご回答ください。【いずれか１つ】

問 7-2　問 7-1 の回答理由や補足説明をご自由にご回答ください。

**表 17　今後の想定スケジュールに対するご意見**

| 区分 | | 回答数 |
|---|---|---|
| ① | 概ね妥当 | 4 |
| ② | もっと前倒して実施すべき | 0 |
| ③ | もっと期間をとるべき | 0 |
| ④ | どちらともいえない | 0 |
| 回答企業者数 | | 4 |

- 業務開始前の引継ぎ期間を 1 年程度確保いただくことが望ましいとの意見がありました。
- 関係会社との体制構築、積算システムの研修、点検基準の確認にも時間を要するため、公募開始から提案提出までについても十分な準備期間を確保いただきたいとの意見がありました。